科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
疾病治療論Ⅲ	NSF22_005	必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
樫本　温　他	教員控室	kango	授業終了後に質問等受付		

授業の目的・概要	疾病治療論Ⅲでは、外科的治療の必要な疾患の概要や血液・腎泌尿器疾患・感染症、アレルギー疾患、膠原病などの疾患の症状、診断に必要な検査及び治療、予後について学ぶ。疾病治療論Ⅰで学んだ疾病治療論総論および病理学・感染免疫学・栄養代謝学・薬理学で学んだ知識などを活用し、症状や検査、治療が人体や生活に及ぼす影響について理解する。また、臨床で経験する頻度の高い疾患を中心に、現在行われている診断治療について学ぶ。
学習上の助言	人体機能構造学と病理学の教科書で予習を行うこと。人体機能構造学と病理学で学習した内容が疾病治療論に繋がっていることを認識し、同様に今学んでいる疾病治療論で学習した知識がこれから学習する看護学専門分野を学習する上で必要になることを認識して学習すること。
教科書	・別巻　臨床外科看護総論　第 11 版　(系統看護学講座)/医学書院 ・専門分野(2)成人看護学<4>　第 15 版　血液・造血器(系統看護学講座)/医学書院 ・専門分野(2)成人看護学<8>　第 15 版　腎・泌尿器(系統看護学講座)/医学書院 ・専門分野(2)成人看護学<11>　第 15 版　ｱﾚﾙｷﾞｰ・膠原病・感染症(系統看護学講座)/医学書院　[4 冊指定]
参考書	・ハリソン内科学　第 5 版/日本語版監修:福井次矢、黒田清/メディカル・サイエンス・インターナショナル/2017

学生が達成すべき行動目標		関連卒業認定・学位授与方針
①	臨床的な重要な疾患についての基礎的な知識と考え方を習得できる。	HSU(1)(2)、NS(1)(5)

授　業　計　画

回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間（時間）	
1	腎・泌尿器疾患(1)　(担当：樫本)	講義	疾病治療論を学ぶ意義について学習する。 次回の講義範囲を予習する。	1
2	腎・泌尿器疾患(2)	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1
3	腎・泌尿器疾患(3)	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1
4	周手術期における 疾患の特徴的な症状　(担当：樫本)	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1
5	疾病の診断の基本と方法　(担当：樫本) （検体検査・画像検査・内視鏡検査 等）	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1
6	疾病に対する薬物療法　(担当：樫本)	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1
7	疾病に対する薬物療法以外の治療 （放射線・輸血・更生医療 等）	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1
8	血液・造血器疾患(1)　(担当：保坂)	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1
9	血液・造血器疾患(2)	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1
10	感染症(1)　(担当：藤井) 感染症の概略、動向等について学習する	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1
11	感染症(2) 主な感染症について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1
12	アレルギー性疾患・膠原病(1)　(担当：藤井) 花粉症、食物アレルギーについて学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1
13	アレルギー性疾患・膠原病(2) アレルギー疾患、膠原病(SLE など)類似疾患について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1
14	アレルギー性疾患・膠原病(3) 関節ﾘｳﾏﾁ、SLE などについて学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1
15	アレルギー性疾患・膠原病(4) 全身性硬化症などについて学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1
試	達成度評価・評価のポイントを参照			

[専門教育関連科目/健康と健康障害の理解]

達成度評価

総合評価割合（%）		試験	レポート	成果発表	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	✓	定期試験は講義全体について実施する。	試験問題について講義の内容を踏まえて解説する。必要に応じフィードバックの時間をしっかり確保する。
レポート	①			
成果発表	①			
ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ	①			
その他	①			

備　考

・本科目における連絡・調整を行う看護教員：堀口　まり子

・当科目は複数の教員が単元ごとに授業を担当するオムニバス形式となっている。
・科目担当者は医師免許を持った教員である。
・授業時は、通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。
・新型コロナウィルス感染症のまん延状況などの社会情勢によって、シラバスは再度変更される可能性がある。